

ひとめで分かる一覽表付き

病気の値段

保険がきかない治療もたくさんあるから



最新のロボット手術の様子。執刀医（右手前）は直接患者には触れず、遠隔操作でメス操る

先進医療の値段

治療法	適用となる病気	費用
陽子線治療	脳腫瘍、頭頸部がん、肺がん、肝臓がん、骨軟部肉腫、前立腺がんなど	288万3000円
重粒子線治療	頭頸部がん、食道がん、肺がん、肝臓がん、前立腺がん、子宮がんなど	314万円
樹状細胞ワクチン療法	乳がん、肺がん等の固形がん	76万円
ラジオ波焼灼療法	肺がん、早期乳がん、腎臓がん	13万～17万円程度
内視鏡下手術用ロボット手術	心臓の冠動脈バイパス移植術	180万円程度

放射線治療の一種で、陽子線をがん細胞にピンポイントに照射し、死滅させる。照射自体の時間は1～20分程度で、1回の治療は4～5回。通常の放射線治療よりも高い効果が望め、治療に伴う痛みや副作用もなく、切らずにがんを治療できる。現在、全国7カ所の施設で実施している。

陽子線と同様、放射線治療の一種だが、異なるのは重粒子線の種類。重粒子線では、高いエネルギーを持つ炭素イオン線ががん細胞を照射する。大規模な施設が必要となるが、陽子線より治療費が安くなる。実施施設は現在、全国に3カ所。胃がんなどの運動機能を損なわずにがんを治療できる。がんの進行を抑え、副作用を抑えている。

患者の血液から採取した細胞を用い、自身の体内にあるがん細胞だけを攻撃するワクチンを生産。それを2週間、1度注射し、4回繰り返す。1回の注射は127,660円。他の治療で効果がなかった患者が適用となる。先進医療の認可を受けた機関は限られており、民間企業が5～10倍の値段で行っていることも多い。皮膚がんの根治に効果的。ラジオ波という高周波電流を患部に導入し、がん細胞を死滅させる。手術が困難な患者に対して手術可能。開腹の必要がなく、体への負担も少ないため、入院日数は5～13日程度と短め（日数はがんの種類や病状によって異なる）。肺がんと腎臓がんは保険でも保険でもOK。肝臓がんに対しては保険適用である。

ダヴィンチという手術支援ロボットを使う。1～2cmの孔から内視鏡やロボットアームを入れて治療することによって、出血量を減らすなどのメリットがある。手術の回復が早い。東京医科大学病院と金沢大学附属病院で治療を受けている。がんなどにもロボット手術は行われており、前立腺がんに対しては今年4月に保険適用に

が必要となるがんなどに比べれば、治療費は大きいとはならないと思っている人が多いのではないだろうか。だが、油断はできない。大きな

な負担がのしかかってくる可能性があるのだという。糖尿病治療で評判の高い「しんくろニク」院長の辛治基医師が言う。

「糖尿病は一見、治療費が安いのに感じられますが、30～40代に発症して、生涯治療が必要な人は少なくありません。トータルで考えれば、最も医療費がかかる病気とも言えるのです」

辛医師の場合、1月初めの糖尿病の診断と血液検査、日に2種類の薬で、月額約7500円の自己負担となる。進行してしまえば、毎

「さらには糖尿病は、高血圧、脂質異常症を合併することも多く、心筋梗塞や脳卒中の原因にもなる。最近の研究では、がんとの関連性も指摘されています。長年、糖尿病の治療をした挙げ句、このような病気を発症したら、治療費が膨大に増えることは言うまでもありません」（辛医師）

1ヵ月にかかる費用は少ないので、高額療養費制度が使える。トータルで考えると糖尿病は、がん治療の何倍も負担が増える可能性も

「糖尿病は一見、治療費が安いのに感じられますが、30～40代に発症して、生涯治療が必要な人は少なくありません。トータルで考えれば、最も医療費がかかる病気とも言えるのです」

辛医師の場合、1月初めの糖尿病の診断と血液検査、日に2種類の薬で、月額約7500円の自己負担となる。進行してしまえば、毎

「さらには糖尿病は、高血圧、脂質異常症を合併することも多く、心筋梗塞や脳卒中の原因にもなる。最近の研究では、がんとの関連性も指摘されています。長年、糖尿病の治療をした挙げ句、このような病気を発症したら、治療費が膨大に増えることは言うまでもありません」（辛医師）

1ヵ月にかかる費用は少ないので、高額療養費制度が使える。トータルで考えると糖尿病は、がん治療の何倍も負担が増える可能性も

「糖尿病は一見、治療費が安いのに感じられますが、30～40代に発症して、生涯治療が必要な人は少なくありません。トータルで考えれば、最も医療費がかかる病気とも言えるのです」

辛医師の場合、1月初めの糖尿病の診断と血液検査、日に2種類の薬で、月額約7500円の自己負担となる。進行してしまえば、毎

「さらには糖尿病は、高血圧、脂質異常症を合併することも多く、心筋梗塞や脳卒中の原因にもなる。最近の研究では、がんとの関連性も指摘されています。長年、糖尿病の治療をした挙げ句、このような病気を発症したら、治療費が膨大に増えることは言うまでもありません」（辛医師）

1ヵ月にかかる費用は少ないので、高額療養費制度が使える。トータルで考えると糖尿病は、がん治療の何倍も負担が増える可能性も

の値段

治療もたくさんあるから

を支えればよい「現物給付」という制度もある。これまでは入院にかかった費用のみだが、今年4月から外来治療にも適用となった。至り尽くせりの制度のように見えるが、注意すべき点もある。まず、現物給付の制度は事前申請が必要で、緊急入院が必要となった場合は、一時的ではあるが、期治療費はすべて立て替なければならぬという点だ。

今年8月に心筋梗塞を起こした坂井徹さん（52歳・仮名）の場合もそうだった。「朝食後に新聞を読んでいた。心臓の少し上を爪でグーッと握りつぶされるような、それまで体験したことのない痛みを感じました。救急車を呼んで病院へ搬送されたんです。意識が朦朧とする中、手術について説明を受けました」

手術は無事に終了したが、この状態で事前に高額療養費の現物給付の申請ができず、支払いは坂井さん自身、

退院後に約35万円の医療費を窓口で支払ったという。さらに、高額療養費制度のこんな落とし穴もある。

「私が心筋梗塞を発症したのは8月末だったのですが、1回目の治療が終わったあと、もう1ヵ所手術が必要になったので、9月に入ってから再手術を受けたんです。もし月初めの間に済ませたら、もっと医療費の負担は安く済んだのですが……」（坂井さん）

ここまでは、すべて保険が適用となる治療法を紹介してきた。次に紹介するのは、保険がきかない先進医療である。

医療の進歩によって高い効果を得られる先進医療も増えてきている。先進医療とは、安全性と効果が確認され、将来に効果があることが認められ、厚生労働省が認可した最新治療のこと。細かい治療法や検査方法はそれぞれ100万以上が認可

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「糖尿病は一見、治療費が安いのに感じられますが、30～40代に発症して、生涯治療が必要な人は少なくありません。トータルで考えれば、最も医療費がかかる病気とも言えるのです」

辛医師の場合、1月初めの糖尿病の診断と血液検査、日に2種類の薬で、月額約7500円の自己負担となる。進行してしまえば、毎

「さらには糖尿病は、高血圧、脂質異常症を合併することも多く、心筋梗塞や脳卒中の原因にもなる。最近の研究では、がんとの関連性も指摘されています。長年、糖尿病の治療をした挙げ句、このような病気を発症したら、治療費が膨大に増えることは言うまでもありません」（辛医師）

1ヵ月にかかる費用は少ないので、高額療養費制度が使える。トータルで考えると糖尿病は、がん治療の何倍も負担が増える可能性も

「糖尿病は一見、治療費が安いのに感じられますが、30～40代に発症して、生涯治療が必要な人は少なくありません。トータルで考えれば、最も医療費がかかる病気とも言えるのです」

辛医師の場合、1月初めの糖尿病の診断と血液検査、日に2種類の薬で、月額約7500円の自己負担となる。進行してしまえば、毎

「さらには糖尿病は、高血圧、脂質異常症を合併することも多く、心筋梗塞や脳卒中の原因にもなる。最近の研究では、がんとの関連性も指摘されています。長年、糖尿病の治療をした挙げ句、このような病気を発症したら、治療費が膨大に増えることは言うまでもありません」（辛医師）

1ヵ月にかかる費用は少ないので、高額療養費制度が使える。トータルで考えると糖尿病は、がん治療の何倍も負担が増える可能性も

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな

「おカネがない」と諦めるな